

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

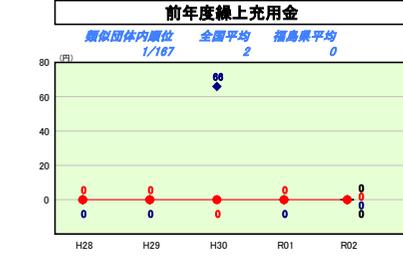
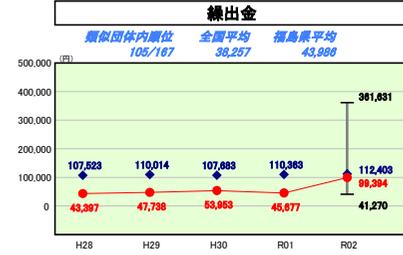
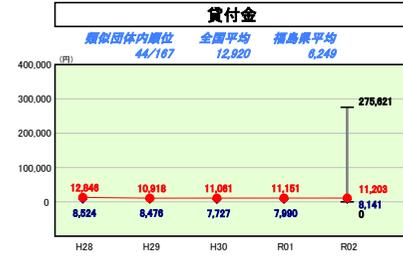
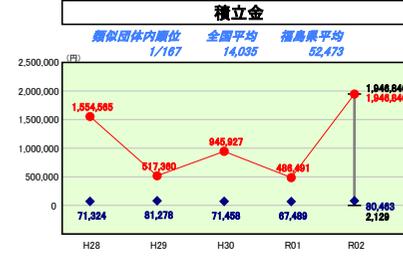
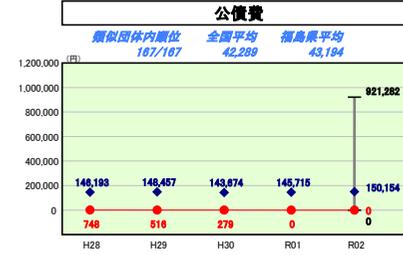
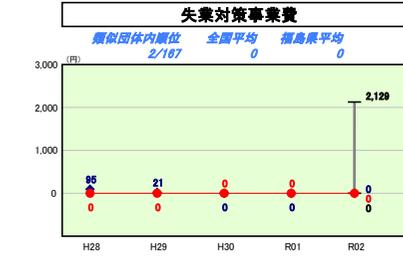
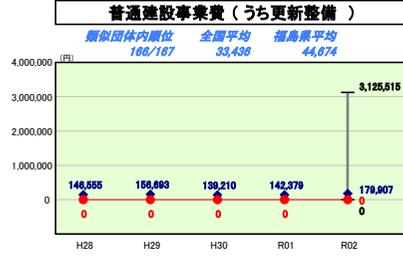
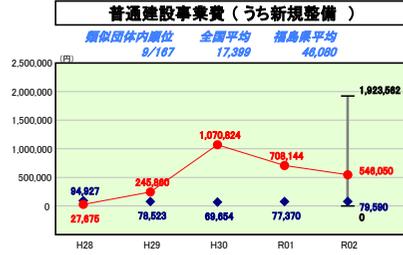
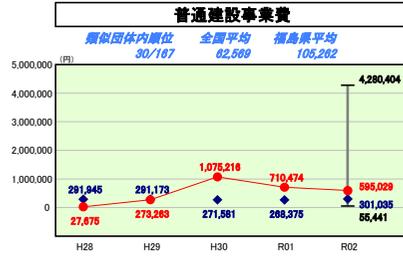
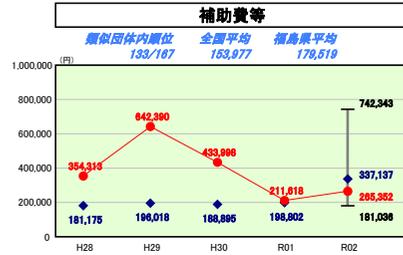
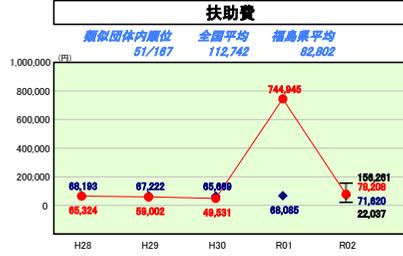
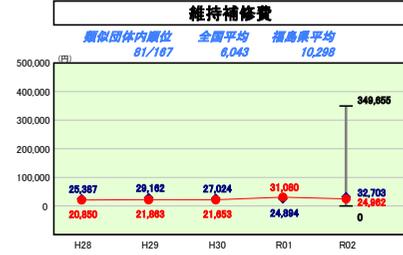
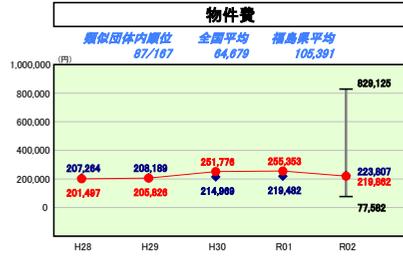
令和2年度

福島県大熊町

人口	10,285人(第3.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	10,223人(第3.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	78.71km ²	実収公債費比率	-2.4	%
歳入総額	35,701,478千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	34,838,422千円	市町村類型	H28 I-O H29 I-O H30 I-O	
実収取支	863,057千円	(年度毎)	R01 I-O R02 I-O	
標準財政規模	4,948,021千円			
地方債現在高	0千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 住民一人当たりのコストは3,393,904円となり、前年と比較して778,130円増となった。これは扶助費が前年度比666,737円減となったが、積立金が前年度比1,460,355円増で類似団体内で1位となったことが主な要因である。扶助費は前年度に避難住民に対して、生活再建促進交付金(7,172,200千円)を交付したことにより、一時的に増加し今年度は大きく減少している。一方で普通建設事業(新規)や基金取崩事業のための積立金については、今後も多くの復興事業が計画されることから、当面の間、類似団体よりも高い水準で推移すると見込んでいる。